

# もぐさの灰が気になる方へ

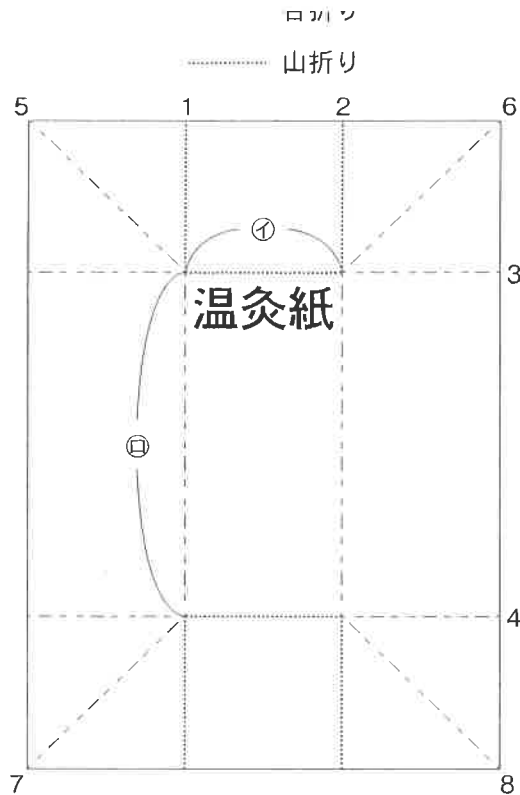


図 1

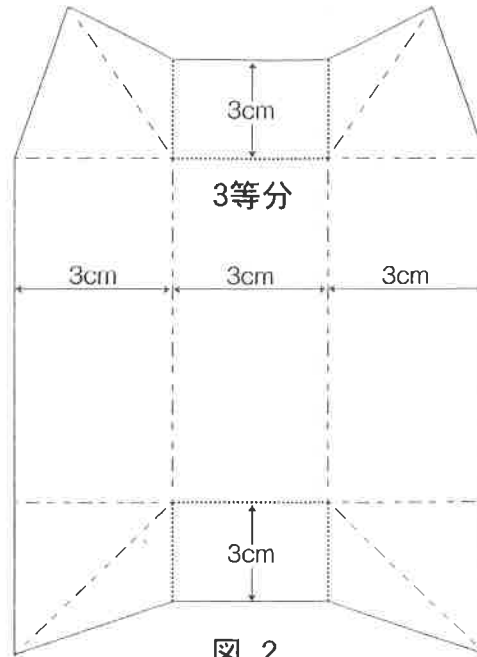


図 2

セロテープなどでとめる。  
反対側も同じようにとめる。

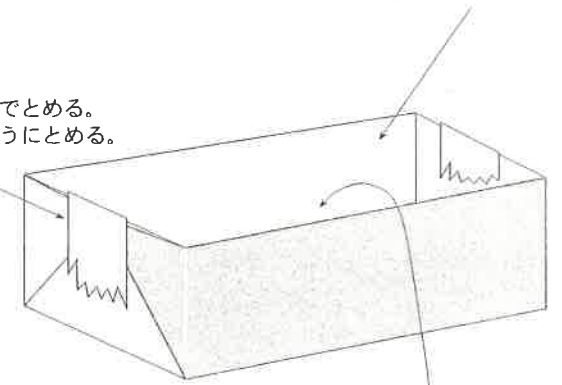


図 3

## 温灸紙を利用した箱の作り方

- 温灸紙の箱を作ると、もぐさの灰が落ちにくくなります。
- ①と⊕の間隔を変えることにより、箱の大きさが変わります。①の間隔を短くすると箱は深くすることが出来ます。
- まず、1を折ります。次に2を折ります。そうしたら元に戻します。次に3を折ります。次に4を折ります。折ったら元に戻します。
- 5、6、7、8を折ります。
- 5と6をつまみ、折りまげて、とめます。(図2を参照)
- 次に反対側の7と8を同じようにつまみ、折りまげてとめます。すると図3のような、温灸紙の箱が出来上がります。

## 温灸紙を大切にお使いいただくために

新しい温灸紙をひろげていただき、8枚に切ります。(図4)  
切った温灸紙1枚を、今お作りになった箱の大きさに合わせて同じ寸法になるように折っていただき、図3の箱の中に入れて下さい。  
図5の温灸紙がこげたり、穴があきそうになったら取り出して、きれいな部分がくるように折り直して又、図3の箱の中に入れて下さい。

## 安全にお使いになるために

この説明書は常にお手元に置き、確認されますよう。又、火を取り扱いますので、安全には充分にご注意ください。

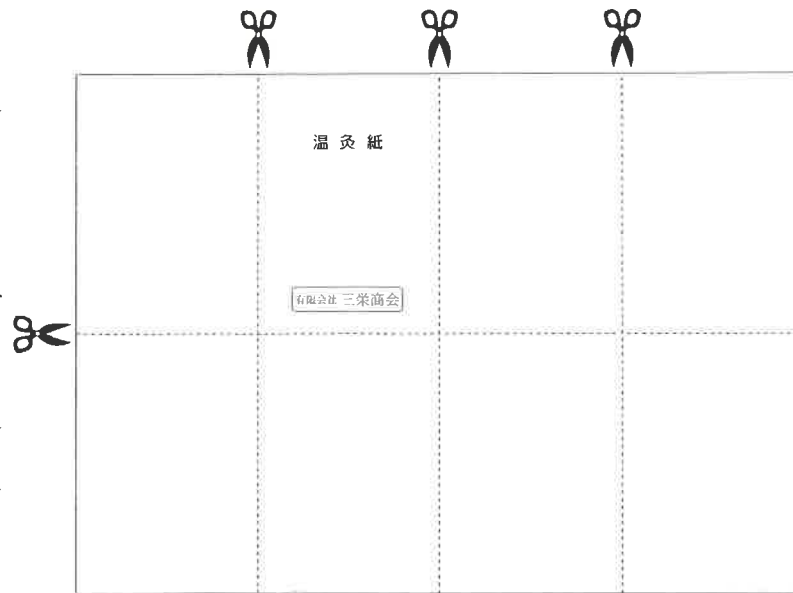


図 4

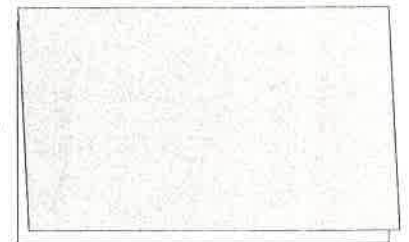


図 5